



○事業所は増えているのか減っているのか？ (■)

⇒今年1月末で野崎地区のデイサービスが廃止している。

○廃止になった理由は？ (■)

職員が確保できなかったため。(小林) 賃金的な問題などがある。(■) 介護職員の給料はすごく安い。(■) 大きい施設よりも、こういう小さい施設の方が親切でいいような気がする。大きい施設は、流れ作業的で、人間としてみるより物としてみるような感じがする。人間的に密着できるところの方が望ましいと思う。こういう施設を増やしてもらった方がいい。(■) 特養やグループホームなどの施設系は、市の介護保険計画によってある程度制限している。増やすと、介護保険料がどんどん上がってってしまう。たくさん設置しても高齢者の数が減っていく時期に施設がつぶれていってしまうので、その辺を見込みながら、他の施設サービスや在宅サービスを利用してもらっていないと、将来介護保険が回らなくなる。デイサービスに関しては、制限がないのでやりたいという事業所があり、基準を満たしていればどんどん作れる。定期的に開設したいとの相談はある。実際に開設するかどうかは事業所次第。(■)

○職員の人数は？ (■)

⇒現在、管理者、生活相談員、機能訓練指導員、臨時の看護師、生活相談員兼介護職員がいる。1日の職員は、3～4名となっている。(■)

○営業時間とサービス提供時間との2時間のギャップは何か？ (■)

⇒送迎時間はサービス提供時間に含まれていない。また、他の時間はミーティングや社内研修など他の業務を行っている。(■)

○何かあった時(災害等)に地元としては今日の利用者数がわかるように玄関先にあるといいという意見が、ねむの木の時があった。プライバシーなどもあって難しいと思うが、ちょっと考えていただければありがたい。(■)

運営基準の中でも、運営推進会議を設置して、避難訓練や行事なども地域の方々と連携して行うというのがある。(■) この大きさからいって、あまり細かいこと言っても、営業している方を苦しめる。これだけ行事をこなしているのだから疲れてしまう。やっている人に余裕を持たせて、その分のエネルギーを利用者に使ってほしい。(■)

○給料が安くて職員が辞めるというのは大きな問題。利用したくても、なくなってしまう。(■) 給料を上げるように努力して、こういうところに支援をいっぱい回し

てほしい。大きいところは何とかなる。( ) 勤めている下の人たちの給料が安すぎる。( ) 最終段階で働く人の給料を上げないと、働く人は来ない。( )  
⇒それぞれの会社で給料の規定を作っている。国の方では、介護職員処遇改善加算というのがあり、基準を満たしているところに介護報酬として給料アップができるようになってきている。昨年10月からベースアップ加算も新しく追加された。加算を取得して給料を上げてほしい ( )

○お金だけの話だけでなく、末端に、自治会長とか社協の副会長をやれとか防犯協会の理事をやれとか、いっぱい給料をもらっている市の職員や包括支援センターの仕事が、みんなこっちに投げられている。責任取れと言われても取れない。責任取らなくてもいいと言いながら、文書で流してくる。考えてやってもらいたい。現場の人が一生懸命やっている。真剣に現場を知ってもらってやってほしい。ここでやってもらっている内容を十分に理解してもらえればと思う。( )

○事故などはないのか？ ( )  
⇒今までのところはない。( ) 事故があった場合は、市への報告もすることになっている。事故の記録だけでなく、ヒヤリハットなども記録に残している事業所もある。事故報告書は、あくまで罰するためのものではない。( ) 命が一番大事だから、命が助かればちょっとくらいはしょうがないと思っている ( ) 安心安全ばかり言って、そればかり求めていても逆に何もできなくなってしまう。( )

○私はここに来ることを喜んで来ている。うちにいるよりここの方がいい。お話を聞いてくれる。孫に世話してもらっているみたい。言いたいことも言えるし、私はここに来られて幸せ。( )  
施設に来て羽を伸ばせるのはいいことだ。( )

3. 次回の運営推進会議予定  
9月ごろに予定